

宇宙体系解説

目 次

宇宙体系解説	i
第 6 版に関するはしがき	iii

第 1 編 天体の見かけの運動について

第 1 章 天の日周運動について	2
第 2 章 太陽とその運動について	4
第 3 章 時間とその測定法について	10
第 4 章 月の運動, 位相および食について	14
第 5 章 惑星, とくに, 水星と金星について	21
第 6 章 火星について	24
第 7 章 木星とその衛星について	26
第 8 章 土星, その衛星およびその環について	29
第 9 章 天王星とその衛星について	32
第 10 章 小惑星のケレス, パラス, ジュノンおよびベスタについて	33
第 11 章 太陽の周りの惑星たちの運動について	34
第 12 章 彗星について	37
第 13 章 星たちとそれらの運動について	38
第 14 章 地球の形, その表面での引力の変動, および重量と長さを用いる 10 進法について	41

第 15 章	海の潮汐, あるいは, その形の日周変化について	54
--------	--------------------------	----

第 16 章	地球の大気と大気屈折について	58
--------	----------------	----

第 2 編 天体の真の運動について

第 1 章	地球の自転運動について	69
-------	-------------	----

第 2 章	太陽の周りの地球の運動について	71
-------	-----------------	----

第 3 章	地球の運動による視運動	75
-------	-------------	----

第 4 章	太陽の周りの惑星たちの運動法則とそれらの軌道の形について	78
-------	------------------------------	----

第 5 章	彗星たちの軌道の形と太陽の周りのそれらの運動則について	84
-------	-----------------------------	----

第 6 章	惑星たちの周りの衛星たちの運動の法則について	88
-------	------------------------	----

第 3 編 運動の法則について

第 1 章	力, それらの成分, および, 質点の釣り合いについて	95
-------	-----------------------------	----

第 2 章	1 つの質点の運動について	97
-------	---------------	----

第 3 章	物体系の釣り合いについて	107
-------	--------------	-----

第 4 章	流体の釣り合いについて	113
-------	-------------	-----

第 5 章	物体系の運動について	116
-------	------------	-----

第4編 万有引力の理論について

第1章 万有引力の原理について	127
第2章 惑星たちの楕円運動での摂動について	133
第3章 惑星たちの質量とそれらの表面での引力について	140
第4章 彗星たちの楕円運動の摂動について	144
第5章 月の運動の摂動について	147
第6章 木星の衛星たちの摂動について	158
第7章 土星と天王星の衛星たちについて	164
第8章 地球と惑星の形とそれらの表面での引力の法則について	165
第9章 土星の環の形について	178
第10章 天体たちの大気について	180
第11章 海の潮汐について	182
第12章 海などの釣り合いの安定について	194
第13章 大気の振動などについて	195
第14章 分点などの歳差と地球軸の章動について	199
第15章 月の秤動について	204
第16章 星たちの固有運動について	207
第17章 万有引力の法則についての考察	209

第 18 章 分子の引力について	214
------------------	-----

第 5 編 天文学史概要

第 1 章 アレクサンドリア学校創設までの古代天文学について	241
第 2 章 アレクサンドリア学校創設からアラビア時代までの天文学について	249
第 3 章 プトレマイオスからヨーロッパの文芸復興までの天文学について	258
第 4 章 現代ヨーロッパにおける天文学について	263
第 5 章 万有引力の発見について	278
第 6 章 宇宙体系と天文学の将来の進歩とに関する考察	290
注記 1	298
注記 2	300
注記 3	301
注記 4	302
注記 5	304
注記 6	305
注記 7 (最終)	306
訳者あとがき	313